



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月13日  
東

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所  
コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 安岡 信幸 (TEL) 0798 (43) 1065  
四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	60,443	21.0	1,993	4.8	2,080	5.4	1,033	0.7
27年2月期第1四半期	49,963	24.0	1,901	48.5	1,973	36.0	1,026	49.3

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 1,374百万円(9.5%) 27年2月期第1四半期 1,254百万円(26.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	36.93	35.67
27年2月期第1四半期	36.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	113,191	50,631	40.8
27年2月期	98,755	49,768	46.0

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 46,202百万円 27年2月期 45,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	14.00	—	14.00	28.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	113,000	10.3	4,200	1.8	4,400	1.5	2,550	0.1	91.06
通期	230,000	7.4	8,500	3.3	8,800	2.3	5,000	15.1	178.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注) 詳細は、添付資料の3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期1Q	32,267,721株	27年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	4,265,521株	27年2月期	4,265,521株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期1Q	28,002,200株	27年2月期1Q	28,002,473株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、全般的には緩やかに上昇しつつあります。しかし、原材料の値上がり、欧州の信用不安など景気の足を引っ張る要因も懸念されます。当食肉業界においては、世界的に畜産物の価格が値上がりしたことにより、売上高は伸びつつありますが、消費者の低価格志向が依然として強く、利益の確保には苦慮しております。このような状況のもと、当社グループは、取り組みを進めている食肉関連の各事業を更に強化することにより、安定的な成長を目指してまいりました。

食肉等の製造・卸売事業においては、生産事業では、本年5月に、豚の加工工場「日高食肉センター」を北海道にオープンしました。これにより、今後高品位な北海道産豚肉を安定的に供給することが出来るようになります。卸売事業においては、近年増えつつある国産牛の輸出を更に促進するため、新たに海外事業部を発足しました。製造事業においては、グループ企業間の製造と販売の相互協力を推し進め、製造の効率化や販路の拡大を促進しました。食肉等の小売事業においては、従業員教育や作業オペレーションの改善、イベント等に向けた提案型販売の強化を進めました。食肉等の外食事業においては、ステーキレストランチェーン事業において競争力向上のための施策を実施しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高604億4千3百万円（前年同四半期比21.0%増）、営業利益19億9千3百万円（前年同四半期比4.8%増）、経常利益20億8千万円（前年同四半期比5.4%増）、四半期純利益10億3千3百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### ①食肉等の製造・卸売事業

売上高は525億9千9百万円（前年同四半期比23.6%増）、セグメント利益は17億6千9百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

#### ②食肉等の小売事業

売上高は54億2千万円（前年同四半期比7.1%増）、セグメント利益は3億6千9百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。

#### ③食肉等の外食事業

売上高は20億2千2百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益は1億3千1百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

#### ④その他

売上高は4億1百万円（前年同四半期比4.6%減）、セグメント利益は2千1百万円（前年同四半期比43.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて144億3千5百万円増加し、1,131億9千1百万円となりました。これは主に、新株予約権付社債の発行による現金及び預金の増加および売上高増加に伴う売上債権の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて135億7千2百万円増加し、625億5千9百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務の増加及び新株予約権付社債の発行によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて8億6千3百万円増加し、506億3千1百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、本年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が225百万円、退職給付に係る負債が209百万円増加し、利益剰余金が41百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

### (4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち、株式会社フードリエ及びその子会社は、12月31日に実施した仮決算に基づく財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、同社が決算日を2月末日に変更したことに伴い、当第1四半期連結累計期間は平成27年1月1日から平成27年5月31日までの5か月間を連結しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,120	26,396
受取手形及び売掛金	24,355	27,537
商品及び製品	9,772	10,868
仕掛品	452	551
原材料及び貯蔵品	3,157	2,950
その他	1,898	2,750
貸倒引当金	△256	△280
流動資産合計	58,501	70,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,807	30,665
減価償却累計額	△18,931	△19,097
建物及び構築物（純額）	8,875	11,568
土地	10,694	10,875
その他	24,823	24,026
減価償却累計額	△15,970	△16,088
その他（純額）	8,852	7,938
減損損失累計額	△1,276	△1,252
有形固定資産合計	27,145	29,129
無形固定資産		
のれん	20	17
その他	307	346
無形固定資産合計	327	364
投資その他の資産		
投資有価証券	10,012	9,997
退職給付に係る資産	—	294
その他	3,034	2,881
貸倒引当金	△267	△249
投資その他の資産合計	12,780	12,923
固定資産合計	40,253	42,416
資産合計	98,755	113,191

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,893	20,475
短期借入金	3,790	4,490
未払法人税等	1,851	811
賞与引当金	678	1,050
その他	7,597	7,922
流動負債合計	31,810	34,750
固定負債		
社債	40	9,042
長期借入金	11,766	13,313
役員退職慰労引当金	178	188
退職給付に係る負債	1,917	2,120
その他	3,273	3,144
固定負債合計	17,175	27,809
負債合計	48,986	62,559
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	28,155	28,755
自己株式	△2,991	△2,991
株主資本合計	41,414	42,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,276	3,495
繰延ヘッジ損益	32	22
為替換算調整勘定	712	696
退職給付に係る調整累計額	△43	△27
その他の包括利益累計額合計	3,978	4,187
少数株主持分	4,374	4,428
純資産合計	49,768	50,631
負債純資産合計	98,755	113,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	49,963	60,443
売上原価	41,345	50,369
売上総利益	8,618	10,073
販売費及び一般管理費	6,717	8,080
営業利益	1,901	1,993
営業外収益		
受取利息	9	9
受取家賃	23	30
受取配当金	4	11
持分法による投資利益	10	3
その他	130	127
営業外収益合計	177	182
営業外費用		
支払利息	42	46
賃貸原価	2	7
その他	59	40
営業外費用合計	105	95
経常利益	1,973	2,080
特別利益		
固定資産売却益	0	8
投資有価証券売却益	14	2
受取補償金	—	2
特別利益合計	14	12
特別損失		
固定資産処分損	5	11
店舗閉鎖損失	11	33
ゴルフ会員権評価損	5	—
その他	1	0
特別損失合計	23	44
税金等調整前四半期純利益	1,965	2,048
法人税等	875	891
少数株主損益調整前四半期純利益	1,090	1,157
少数株主利益	63	123
四半期純利益	1,026	1,033

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,090	1,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266	225
繰延ヘッジ損益	△26	△10
為替換算調整勘定	△74	△14
退職給付に係る調整額	—	16
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	164	216
四半期包括利益	1,254	1,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,190	1,242
少数株主に係る四半期包括利益	64	131

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	42,548	5,061	1,934	49,543	420	49,963	—	49,963
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,847	41	46	1,935	39	1,975	△1,975	—
計	44,395	5,102	1,980	51,478	460	51,939	△1,975	49,963
セグメント利益	1,700	328	130	2,159	38	2,197	△296	1,901

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△296百万円には、セグメント間取引消去△38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△257百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	52,599	5,420	2,022	60,041	401	60,443	—	60,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,911	35	69	2,016	28	2,044	△2,044	—
計	54,510	5,455	2,091	62,057	429	62,487	△2,044	60,443
セグメント利益	1,769	369	131	2,270	21	2,291	△298	1,993

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△298百万円には、セグメント間取引消去△25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△272百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。